

エジプト投資フォーラム
堀井学外務大臣政務官の挨拶

(平成29年12月19日)

ナスル投資・国際協力大臣，御列席の皆様，外務大臣政務官の堀井学でございます。

本日，エジプトから傑出した大臣と政府関係者，たくさんの方のビジネス関係者の皆様をお迎えして，エジプト投資セミナーが開催されたことをお祝い申し上げます。また，もう一つのお祝い事としては，エジプトが28年ぶりに，明年開催されるサッカーのワールドカップ出場を決められたことでしょうか。日本も出場しますが，予選でエジプトと同グループにならなかったことは，ひとまず外交的にはよかったと思っています。エジプトの皆様は日本びいきですが，サッカーの方が好きだと思っております。

エジプトが2011年からの政変後、様々な課題に直面しつつも、安定に向けて着実に歩んでいることに勇気づけられています。エジプトの安定なくして、中東・北アフリカの安定はありません。経済面では、昨年からの変動相場制移行や付加価値税（VAT）導入等の経済改革を高く評価しております。IMFによれば、外貨準備高の回復や安定的な経済成長率、海外からの直接投資の増加等のマクロ経済は安定基調にあります。エジプト経済の潜在性は高く、エジプトがこうした改革途上にある現在、日エジプト間には大きなビジネス・チャンスが広がっていると思います。本日の投資セミナーが、具体的な成果を生み出すことを期待します。

日エジプト間の外交関係は、2016年のエルシーシ大統領の訪日を機に飛躍的に進展しています。本年は、要人往来が非常に活発な一年でした。エジプトか

ら代議院議長，国軍参謀総長やコプト教皇が初訪日され，日本からは9月に河野大臣がカイロを訪問し，エルシーシ大統領表敬やアラブ連盟で史上初となる，中東外交に関する政策演説を行いました。先週は，伊達参議院議長がカイロを訪問されたところです。

政策面では，御列席の大臣閣下の御尽力により，日エジプト首脳間で合意された「教育パートナーシップ」が着実に進展しています。初等教育における日本式教育導入やエジプト日本科学技術大学（E-JUST）への協力が進んでおります。5年間で2,500名をエジプト人留学生・教員を日本に受け入れる計画は，今年で2年目となり，すでに300名以上の方が訪日されています。かかる協力の実現にエルシーシ大統領の強いコミットメントがあります。

日本では武田信玄という武将の格言に「人は城，人は石垣，人は堀」というものがあります。人材はすべての基礎です。教育面での協力拡大は，将来の日本の

エジプトへの投資の基盤作りにも繋がると信じています。

皆様, 日本人は皆, 学校でエジプト文明を学びます。日本は現在, 「大エジプト博物館建設計画」に協力していますが, 世界的な人類の遺産であるエジプト文明の保存と魅力的な展示に貢献できることは光栄です。両国間の象徴的なプロジェクトであり, 是非, 成功させたいと考えています。また, 本年10月には東京ーカイロで直行便が再開し, 今回, ナスル大臣御一行も利用されたと聞いております。大エジプト博物館の完成や直行便再開, そして本日のセミナーのような機会を通じ, 日本とエジプトが, 観光・投資の分野で一層近くなることを願います。

御清聴, ありがとうございました。